

平成 20 年 3 月 19 日

各 位

新潟県三条市西本成寺二丁目 26 番 57 号
株式会社 オーシャンシステム
代表取締役社長 樋口 毅
(コード番号: 3096)
問合せ先: 取締役管理本部長 磯西 雅夫
電話番号: (0256) 33-3987 (代表)

平成 20 年 3 月期の業績見通しについて

本資料は、平成 20 年 2 月 19 日に公表した内容と同様のものです。

平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) における当社の業績見通しは、次のとおりであります。

【通期・連結】

項 目	平成 20 年 3 月期 (予想)			平成 19 年 3 月期 (実績)		平成 19 年 9 月中間期 (実績)	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	百万円 35,029	% 100.0	% 104.8	百万円 33,415	% 100.0	百万円 17,374	% 100.0
営業利益	1,117	3.2	115.9	963	2.9	457	2.6
経常利益	1,150	3.3	119.5	962	2.9	470	2.7
当期純利益	670	1.9	151.9	441	1.3	279	1.6
一株当たり当期純利益	61 円 85 銭			48 円 82 銭		30 円 90 銭	

【通期・単体】

項 目	平成 20 年 3 月期 (予想)			平成 19 年 3 月期 (実績)		平成 19 年 9 月中間期 (実績)	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	百万円 34,561	% 100.0	% 104.7	百万円 32,981	% 100.0	百万円 17,178	% 100.0
営業利益	1,064	3.1	117.0	909	2.8	434	2.5
経常利益	1,105	3.2	120.4	917	2.8	451	2.6
当期純利益	643	1.9	147.9	435	1.3	244	1.4
1 株当たり当期純利益	59 円 43 銭			48 円 18 銭		27 円 02 銭	
1 株当たり配当金	16 円			16 円		-円	

(注1) 平成 19 年 3 月期(実績)及び平成 19 年 9 月中間期(実績)の 1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

(注2) 平成 20 年 3 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益につきましては、公募予定株式数(1,800,000 株)を含めた期末予定発行済株式数により算出しております。オーバーアロットメントによる第三者割当増資分(200,000 株)は考慮しておりません。

ご注意: この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」(並びに訂正事項分)をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【平成 20 年 3 月期の業績予想の前提条件】

(1) 連結

<全般的な見通し>

当期は、エリアの拡大とドミナント戦略を基本として事業展開を行います。

弁当給食事業の関東を中心とした販売エリアの拡大と小売事業のサブ F C を中心としたドミナント戦略が中心となります。

弁当給食事業は、直営店については、関東を中心に販売エリア拡大を進めていきます。東京都については、平成 18 年からお弁当の店頭販売「こしひかり弁当」を卸売り販売形式の F C 展開で開始いたしました。

小売事業は、「業務スーパー」のサブ F C を中心としたドミナント戦略を展開していきます。また、日配品について協力工場と共同して商品開発を行い、高品質で低価格商品の供給を行います。

(a) 売上高

当社企業グループは、小売事業の新規出店および平成 19 年 3 月期新規出店店舗の売上増ならびに弁当給食事業の関東地区における販売食数増加を計画しております。その結果、売上高は前年同期と比較して増加の予定であります。

これにより、小売事業 22,420 百万円（前年同期比 5.0%増）、弁当給食事業は 6,549 百万円（前年同期比 8.0%増）、宅配事業 5,526 百万円（前年同期比 1.3%増）、旅館事業 532 百万円（前年同期比 4.3%減）、全体で 35,029 百万円（前年同期比 4.8%増）の計画であります。

(b) 売上原価

売上原価率は平成 19 年 3 月期と概ね同じ 73.8%の計画であります。

売上高の増加もあり、全体では 25,870 百万円（前年同期比 4.8%増）の計画であります。

(c) 売上総利益

売上高の増加により売上総利益は前年同期より 408 百万円増加して 9,158 百万円（前年同期比 4.6%増）の計画であります。

(d) 販売費及び一般管理費

人件費については、小売事業の出店、弁当給食事業の販売食数の増加に伴う増員を計画しております。また、弁当給食事業および小売事業における設備の増強に伴う設備費の増加を見込んでおります。

全体では、8,041 百万円（前年同期比 3.2%増）の計画であります。

(e) 営業利益

売上総利益の増加と経費率の低下により営業利益は前年同期より 153 百万円増加して 1,117 百万円（前年同期比 15.9%増）の計画であります。

(f) 営業外収益・費用

支払利息については、借入金返済表に基づいて集計した金額としております。その他の主な営業外収益、費用については、平成 19 年 3 月期実績をベースに計画を策定しております。

なお、株式公開関連費用 43 百万円を計上しております。

(g) 経常利益

経常利益は前年同期より 187 百万円増加して 1,150 百万円（前年同期比 19.5%増）の計画であります。

(h) 特別損益

主に新潟県中越沖地震に伴う保険金収入として特別利益 92 百万円、主に新潟県中越沖地震に伴う災害損失として特別損失 82 百万円を見込んでおります。

(i) 当期純利益

当期純利益は前年同期より 228 百万円増加して 670 百万円（前年同期比 51.9%増）の計画であります。

ご注意： この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

(2) 単体

連結と同様の前提条件で業績見通しを作成しております。

以上

ご注意： この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（並びに訂正事項分）をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。